

能率がアップする最新文具(第7回)

“失敗の味方”続々。書き間違い「修正テープ」

2017.01.26

書類の書き間違いをしてしまったときに役立つのが、修正ペンや修正テープなどの修正グッズ。修正ペンが生まれたのは米国ですが、修正テープは1989年に日本の消しゴムメーカー・シードが開発したものです。「乾くのを待つ必要がない」「凹凸なく消せて上書きしやすい」という、まさに画期的な商品で、瞬く間に世界中に広まりました。

最近、その修正グッズが大きな進化を遂げています。今回は、最新の修正グッズとその便利な機能について紹介していきます。

修正テープの回転革命「クルティア」

修正テープには、従来「うまく引けない」という悩みがありました。テープを使用する際、本体の持ち方や紙に当てる角度・圧力などに、どうしても個人差が生じてしまうためです。

それらの問題を解決するため誕生したのが、ゼブラの「クルティア」。ヘッドが360度回転するため、斜めや曲線の修正も可能というユニークな商品です。今まで直線だった修正テープのヘッドを思い切って360度回転可能にして、紙に接する角度が自動的に調整できるようになったのです。「真っすぐキレイに引ける修正テープ」を追求するため、あえて曲線を可能にしたという風変わった視点で開発されました。

クルティアはキレイに消す機能はもちろん、机に立てられるボトル型なので、手に取りやすい場所に置いておける点も便利です。キャップを開けて引き抜くだけでカートリッジの交換ができるので、これまで少し面倒なイメージがあった交換作業もほんの数秒で完了です。

ボールペン感覚で手軽に使える「ホワイティア」… 続きを読む